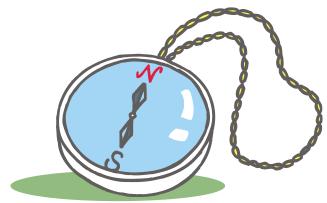


羅針盤

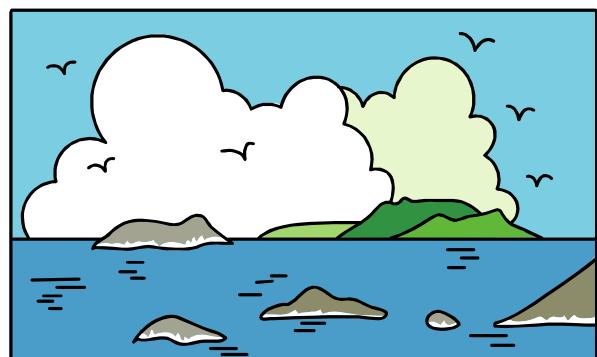


第 12 号

令和6年8月26日(月)

◆ 学びて時にこれを習う、亦た説ばしからずや。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、1年以上の月日が過ぎ去りました。今年の夏季休業期間（夏休み）は、通常どおりの5週間（35日間）の長期にわたるものでしたが、有意義な時間を過ごすことができたでしょうか。生活リズムを崩すことなく、決まった時間に起き、決まった時間に食事をとり、決まった時間に寝ることができたでしょうか。また、この休業期間に仕上げるべき宿題や課題にきちんと取り組むことができたでしょうか。夏季休業期間中には、部活動での試合や大会が行われたり、3年生の中には、高校のオープンスクールなどに参加した人がいたかもしれません。自分自身が立てた目標の達成に向けて努力を惜しまず、頑張りきることができましたか。頑張れば結果が出る。しかしながら、頑張っても直ぐには結果が出ないこともあります。「学び」は長い時間をかけながら、継続してこそ結果に結びつく日がやってくるものです。儒学の始祖である孔子の教えをまとめた書物である『論語』には、「学びて時にこれを習う、亦（ま）た説（よろこ）ばしからずや。」といったものがあります。この言葉の意味は、「学んだことを適当な時期におさらいするのは理解が深まって良いものである。」です。夏休みに出された宿題・課題はこの言葉の意味するとおりのねらいがあります。今週末には3年生の実力テスト、来週には1・2年生の課題テストが実施されます。この夏休みに積み重ねてきた成果が問われるテストです。自分の持てる力を十分に発揮してもらいたいものです。



◆ 蹄めない気持ち

「焦（あせ）らず、慌（あわ）てず、そして、諦（あきら）めず！」この言葉は、これまでに幾度となく生徒の皆さんに繰り返し伝えてきた言葉です。今の自分自身との課題と向き合い、地道な努力を続けることが、最終的には一番の近道であるということ。そのためには、決して「諦（あきら）めない」気持ちを持ち続けることが何よりも大事なことです。やらなければ何も結果に表れることはできません。ゼロはゼロのままです。皆さんもよく知っているアメリカの大リーグで今年も活躍をしている大谷翔平選手は、日本のプロ野球で活躍しているときから、投手と打者のどちらでも試合に出場する「二刀流」をめざし、その「夢」を決して諦めることなく、そして努力を積み重ね、その結果が今の彼の姿へと繋がってきたはずです。試合に臨むまでの準備を怠ることなく、やるべきことをやったうえで、努力を惜しまなかつたはずです。生徒の皆さんにとっても、日頃から、「当たり前のことが当たり前にできる」ということが、何よりも大事なことであるはずです。時間を見守ることや、忘れ物をしないこと、服装を整えること、これらの当たり前のことが当たり前にできる人になっていってほしいと思います。2学期には、体育大会や文化発表会などの学校行事を通じて、実り多き日々を過ごすことができるよう、「諦めない」気持ちを持ち続けることができる、生徒であることを切に願っています。